

交通事故被害者の会

060-0001

18 2005 8 10
E-mail hk-higaisha@nifty.com

TEL 011-233-5130 FAX 011-233-5135
http://homepage2.nifty.com/hk-higaisha/

12

武士は心の中に生きている

10 7 12 11 55
5 22
29



22

9

22 30

19

今号の主な内容

- ②～④ 2005年、定期総会・交流会
- ⑤～⑦ 講話「交通事故被害者の心理的後遺症（PTSD）とケア」（久保義彦）
- ⑦ 報告「地裁判決を受けて」（竹田 彩） 「高次脳機能障害に理解を」（篠原 節）
- ⑧⑨ 報告「危険運転致死罪での実刑が確定しました」（山下芳正）「刑事裁判を終えて」（平澤弘道）
- ⑩ 要望事項の実現めざして 報告「『とまれ』マークをたくさん貼って」（佐藤京子）
- ⑪ 要望事項一覧 ⑫ 会員からのお便り 活動日誌 お知らせ

2005年 定期総会・交流会開かれる 5/14 KKRホテル



6 5 14 13
KKR 27
118



889 46 700 500
300

3

1 8 51
11

()



4 20 13

JR

107

92

4

グループ別交流会・4グループに35人

2回目となったグループ別交流会には、昨年より多い35人の会員が参加。今求めている課題について、少人数のグループで、互いに報告しあいました。助言や講師を務めた弁護士、医師の力強い協力もあり、有意義な交流が行われました。以下は各グループの担当世話人の報告です。

10

～ 刑事・民事裁判 ～

14



～ 怪我をされた方の交流 ～

7

～ メンタルケア ～

講師:久保 義彦 医師

6

～ 自由テーマ ～

8



ご挨拶



4 I

()

役員・世話人一覧

(
(
()
()
()
()
()

交通事故被害者の心理的後遺症（PTSD）とケア

久保義彦 先生

● 講師略歴

1945 年生まれ。1972 年札幌医科大学卒。専攻は精神分析学・精神療法。札幌医科大学精神医学教室助手、札幌鉄道病院精神衛生科主任医長、個人病院3院勤務を経て、2000 年 12 月札幌市中央区に「くぼメンタルクリニック」を開業、現在に至る。北海道精神分析研究会代表幹事。

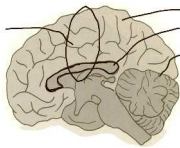
10

1 はじめに～大切な自己理解

PTSD

2 脳の働きと記憶

～知的部分と感情部分が協同して記憶～



3



4 孤立感に苛まれる被害者

自分を責め続ける家族

～説明してもわかってもらえない～

30

3 被害者と家族の記憶

～生の体験が感情と体の変化を伴って記憶～

6 心理的耐性に変化 ～子供返り～

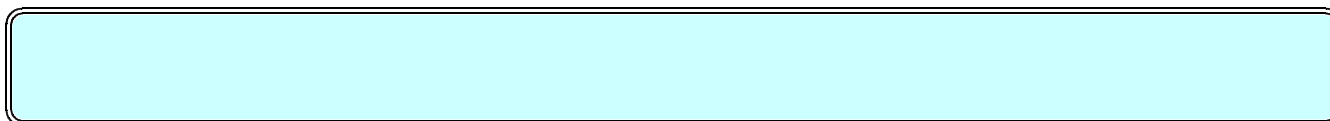
PISD

5 家族間の葛藤
～ショックの受け方と対応に違い～

7 表現すること、話し合うこと
～体感的記憶から歴史的記述へ～

8 快復のために
～安心を感じる体験の積み重ねを～

5 14



13

10

03/7/17	
6	1
03/9	
04/2/16	
05/3/15	1 8
05/6/8	



札幌市豊平区

100

(2005 6 8)

NPO

